

Ver 1.1

オフセット・クレジット(J-VET)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙
モニタリング計画書

プロジェクト名	上士幌町有林間伐促進プロジェクト (次世代に引き継ぐ豊かな森林づくりプロジェクト)
プロジェクト代表事業者名	北海道河東郡上士幌町 町長 竹 中 貢

提出日 平成22年10月4日

受理日 平成22年10月4日

最終版提出日 平成22年11月16日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	北海道河東郡上士幌町に立地するカラマツ及びクイマツ雑種F1	CO ₂	
地下部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。		CO ₂	
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
主伐による地上部バイオマス分の排出量	なし			
主伐による地下部バイオマス分の排出量	なし			
植林対象地の植生除去分の排出量	なし			

※ 欄が足りない場合には追加して記入すること。

II. 算定式（方法論項目5）

4. 純吸収量の算定 ※下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。
本欄に記載しきれない場合は、別途、吸収量算定を行った資料を添付すること。

$$\Delta C_{total} = \Delta C_{FM} - \Delta C_{Base}$$

$$\Delta C_{FM} = \Delta C_{AG} + \Delta C_{BG}$$

ΔC_{total} 人為的純吸収量 (t-CO₂/年)
 ΔC_{FM} 森林経営活動(間伐)に基づく、年間のCO₂吸収量 (t-CO₂/年)
 ΔC_{Base} 森林経営活動(間伐)対象地のベースラインCO₂吸収量 (t-CO₂/年)
 ΔC_{AG} 地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)
 ΔC_{BG} 地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)

年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
純吸収量 (ΔC_{total})	247	517	617	621	629	2,631

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{AG} = \sum \Delta C_{AG,i} = \sum (\text{Area}_{Forest,i} \times \Delta \text{Trunk}_{SC,i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44/12)$$

$\Delta C_{AG,i}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)
 $\text{Area}_{Forest,i}$ 階層*i*において森林経営活動(間伐)が実施された森林面積 (ha)
 $\Delta \text{Trunk}_{SC,i}$ 収穫予想表等に基づく、階層*i*における単位面積当たりの幹材積の年間成長量 (m³/ha/年)
 BEF_i 階層*i*における幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数
 WD_i 階層*i*における成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数 (t/m³)
 CF 樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率 (0.5)
i 1,2,3...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
地上部バイオマス吸収量 (ΔC_{AG})	192	401	478	482	488	2,041

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{BG} = \sum \Delta C_{BG,i} = \sum (\Delta C_{AG,i} \times R_{ratio,i})$$

$\Delta C_{BG,i}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層*i*における地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)
 $R_{ratio,i}$ 階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量に、地下部(根)を加算補正するための係数
i 1,2,3...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
地下部バイオマス吸収量 (ΔC_{BG})	55	116	139	139	141	590

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

ベースライン吸収量はゼロ

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

該当なし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo.	小班名	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位:ha]	備考
		方法論に記載されているパラメータを記入	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	事業者自ら実測を行う場合、具体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるように詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検等を行ったか、また、行つたかをチェックする	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①施業年(林齢) ②その他特筆すべき事項があれば記入
1	2林班194小班 2林班248小班 2林班249小班	モニタリング対象となる活動量の説明 Area _{Forest}	実測(森林測量)に基づく方法	GPS受信機(Trimble Pathfinder Pro XT)を用いて、間伐を実施した林小班の周囲の座標値を計測する。得られた座標値に基づき、対象森林の面積を算出する。急斜面等の遮蔽物によりGPS衛星の電波を安定的に受信できない測点は、レーザー測量機器(Tru Pulse 360B)を併用する。(別紙「モニタリング(間伐面積の測定)マニュアル」参照)	モニタリング時に1回	○	14.36	①2008年度(29) ②GPS受信機は、SBAS対応のDGPS受信機である。
2	2林班204小班 4林班102小班 4林班134小班	同上	同上	同上	同上	○	20.40	①2009年度(29) ②同上
3	50林班32小班	同上	同上	同上	同上	○	0.51	①2009年度(45) ②同上
4	50林班34小班 50林班35小班	同上	同上	同上	同上	○	1.16	①2009年度(42) ②同上
5	61林班10小班1	同上	同上	同上	同上	○	2.73	①2008年度(15) ②同上
6	61林班12小班 61林班14小班	同上	同上	同上	同上	○	12.76	①2011年度(44) ②同上
7	61林班32小班	同上	同上	同上	同上	○	1.80	①2012年度(30) ②同上
8	58林班39小班 61林班16小班	同上	同上	同上	同上	○	17.44	①2009年度(42) ②同上

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo.	小班名	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位:ha]	備考
		方法論に記載されているパラメータを記入				モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検等を行ったか、また、行うかをチェックする		
	モニタリングポイントの番号(間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリング対象となる活動量の説明	測定方法・データ把握方法を記入(モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	事業者自ら実測を行う場合、具体的な測定方法を記入(記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるように詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	キャリブレーション・点検等実施・予定日	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①施業年(林齢) ②その他特筆すべき事項があれば記入
9	61林班10/小班2	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	2.01	①2008年度(15) ②同上
10	61林班17/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	8.68	①2009年度(42) ②同上
11	59林班3/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	1.04	①2010年度(40) ②同上
12	59林班32/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	0.38	①2010年度(42) ②同上
13	59林班34/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	4.16	①2010年度(44) ②同上
14	59林班36/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	4.80	①2010年度(15) ②同上
15	59林班40/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	1.39	①2010年度(44) ②同上
16	66林班17/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	0.44	①2010年度(19) ②同上
17	67林班3/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	18.20	①2008年度(42) ②同上
18	18林班4/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	0.44	①2012年度(25) ②同上
19	18林班12/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	0.04	①2012年度(25) ②同上
20	18林班13/小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	○	0.46	①2012年度(25) ②同上

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位:ha]	備考
		方法論に記載されているパラメータを記入	モニタリング対象となる活動量の説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	事業者自ら実測を行う場合、具体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検等を行ったか、また、行うかをチェックする	キャリブレーション・点検等実施・予定日	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①施業年(林齢) ②その他特筆すべき事項があれば記入
21	18林班14小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	同上	○	同上	0.48	①2012年度(25) ②同上
22	18林班15小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	同上	○	同上	0.56	①2012年度(25) ②同上
23	18林班18小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	同上	○	同上	0.44	①2012年度(25) ②同上
24	18林班19小班	Area _{Forest}	同上	同上	同上	同上	○	同上	0.68	①2012年度(25) ②同上

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
	モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	各種係数に対応する樹種名を記入	方法論に記載されているパラメータを記入	モニタリング対象となるパラメータの説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリングパターンにあるパターンから選択)	パラメータを引用する場合は、詳細資料をⅦ備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるように詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法を参照し、測定機器のキヤリブレーション・点検実施・予定日	想定吸収量の算定に使用した値を記入		①特筆すべき事項があれば記入 ②Trunk:植栽本数等の区分によって収穫予想表が複数存在する場合、使用する収穫予想表の選定根拠(Ⅶ備考にて説明) ③(暫定)地位:その特定根拠(例:森林簿)
1	2林班194小班 2林班248小班 2林班249小班	カラマツ	BEF	バイオマス 拡大係数	パターン2	「京都議定書第3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づき樹種ごとに決定する。	吸収量算定時	—	1.15	1.15	①21年生以上
2	2林班204小班 4林班102小班 4林班134小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
3	50林班32小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
4	50林班34小班 50林班35小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
5	61林班10小班1	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.5	①20年生以下
6	61林班12小班 61林班14小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
7	61林班32小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
8	58林班39小班 61林班16小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
9	61林班10小班2	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.5	①20年生以下
10	61林班17小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
11	59林班3小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
12	59林班32小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
13	59林班34小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
14	59林班36小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.5	①20年生以下
15	59林班40小班	カラマツ	BEF	同上	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	各種係数に対応する小班的を記入	モニタリング対象となるパラメータの説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	パラメータを引用する場合は、詳細資料をⅦ備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるように詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検を行うが、また、チェックする	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①特筆すべき事項があれば記入 ②Trunk: 植栽本数等の区分によって収穫予想表が複数存在する場合、使用する収穫予想表の選定根拠(Ⅶ備考にて説明) ③(暫定)地位: その特定根拠(例: 森林簿)
16	66林班17小班	カラマツ	同上	同上	同上	同上	同上	1.5	①20年生以下
16	66林班17小班	カラマツ	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
17	67林班3小班	カラマツ	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①21年生以上
18	18林班4小班	グイマツ雑種F1	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①(1)21年生以上 ①(2)「京都議定書第3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」の中では、「グイマツ雑種F1のバイオマス拡大係数は示されていない。本プロジェクトのCO ₂ 吸収量の算定に使用するグイマツ雑種F1のバイオマス拡大係数は、報告書で示される他の針葉樹ではなく、成長過程や成長量が類似するカラマツの数値を使用する。
19	18林班12小班	グイマツ雑種F1	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①(1)21年生以上 ①(2)同上
20	18林班13小班	グイマツ雑種F1	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①(1)21年生以上 ①(2)同上
21	18林班14小班	グイマツ雑種F1	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①(1)21年生以上 ①(2)同上
22	18林班15小班	グイマツ雑種F1	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①(1)21年生以上 ①(2)同上

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
23	モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	各種係数に対応する樹種名を記入	モニタリング対象となるパラメータの説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	パラメータを引用する場合は、詳細資料をⅦ備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検・予定日 点検を行ったか、また、行うかをチェックする	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①特筆すべき事項があれば記入 ②Trunk:植栽本数等の区分によって収穫予想表が複数存在する場合、使用する収穫予想表の選定根拠(VII備考にて説明) ③(暫定)地位:その特定根拠(例:森林簿)
24	18林班18小班	グイマツ雑種F1	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①-①)21年生以上 ①-②)同上
	18林班19小班	グイマツ雑種F1	同上	同上	同上	同上	同上	1.15	①-①)21年生以上 ①-②)同上

Ⅲ. モニタリング詳細ー各種係数ー(方法論項目5)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	各種係数に対応する小班的樹種名を記入	方法論に記載されているパラメータを記入	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリングパターンから選択)	パラメータを引用する場合は、詳細資料をⅦ備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるように詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法をガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検・予定実施の日	測定吸収量の算定に使用した値を記入	①特筆すべき事項があれば記入 ②Trunk:植栽本数等の区分によって収穫予想表が複数存在する場合、使用する収穫予想表の選定根拠(VII備考にて説明) ③(暫定)地位:その特定根拠(例:森林簿)
1	2林班194小班 2林班248小班 2林班249小班	カラマツ	WD 容積密度	パターン2	「京都議定書第3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づき樹種ごとに決定する。	吸収量算定時	—	0.404	
2	2林班204小班 4林班102小班 4林班134小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
3	50林班32小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
4	50林班34小班 50林班35小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
5	61林班10小班1	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
6	61林班12小班 61林班14小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
7	61林班32小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
8	58林班39小班 61林班16小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
9	61林班10小班2	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
10	61林班17小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
11	59林班3小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
12	59林班32小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
13	59林班34小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
14	59林班36小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	
15	59林班40小班	カラマツ	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
16	モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	各種係数に対応する小班的を記入 (同一小班的は識別可能な方法で記述)	方法論に記載されているパラメータを記入	モニタリング対象となるパラメータの説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	パラメータを引用する場合は、詳細資料を備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるように詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検日 キャリブレーション・点検実施・予定日	①特筆すべき事項があれば記入 ②Trunk:植栽本数等の区分によって収穫予想表が複数存在する場合、使用する収穫予想表の選定根拠(VII備考にて説明) ③(暫定)地位:その特定根拠(例:森林簿)
17	66林班17小班 67林班3小班	カラマツ カラマツ	同上 同上	同上 同上	同上 同上	同上 同上	同上 同上	0.404 0.404	
18	18林班4小班	グイマツ雑種FI	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	①「京都議定書第3条3及び4の下でのLULUCF活動の補定情報に関する報告書」の中では、「グイマツ雑種FIの容積密度は示されていない。本プロジェクトのCO2吸収量の算定に使用するグイマツ雑種FIの容積密度は、報告書で示されるその他針葉樹ではなく、成長過程や成長量が類似するカラマツの数値を使用する。
19	18林班12小班	グイマツ雑種FI	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	①同上
20	18林班13小班	グイマツ雑種FI	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	①同上
21	18林班14小班	グイマツ雑種FI	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	①同上
22	18林班15小班	グイマツ雑種FI	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	①同上
23	18林班18小班	グイマツ雑種FI	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	①同上
24	18林班19小班	グイマツ雑種FI	WD	同上	同上	同上	同上	0.404	①同上

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	モニタリングポイントの番号 に 対応する 小班名を 記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述)	各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に記載されているパラメータを記入	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	パラメータを引用する場合は、詳細資料をⅧ備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法を参照し、測定機器のキャリブレーション・点検を行うたか、また、チェックする	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①特筆すべき事項があれば記入 ②Trunk・植栽本数等の区分によって収穫予想表が複数存在する場合、使用する収穫予想表の選定根拠(VII備考にて説明) ③(暫定)地位:その特定根拠(例:森林簿)
1	2林班194小班 2林班248小班 2林班249小班	カラマツ	Rratio 地下部率	パターン2	「京都議定書第3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づき樹種ごとに決定する。	吸収量算定時	—	0.29	
2	2林班204小班 4林班102小班 4林班134小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
3	50林班32小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
4	50林班34小班 50林班35小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
5	61林班10小班1	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
6	61林班12小班 61林班14小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
7	61林班32小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
8	58林班39小班 61林班16小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
9	61林班10小班2	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
10	61林班17小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
11	59林班3小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
12	59林班32小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
13	59林班34小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
14	59林班36小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	
15	59林班40小班	カラマツ	Rratio	同上	同上	同上	同上	0.29	